

平成20年11月18日

特別支援教育の推進に関する調査研究協力者会議

座長 高倉 翔 様

全国特別支援学級設置学校長協会

会長 瀧島 順一

障害のある子どもの早期支援と就学指導の在り方に関する意見

Ⅰ 早期支援(乳幼児期から)についての意見

…保護者(母親)との相談を進めるなかで…

【気付いた親】

「子どもの発達の遅れや成長の変化について、気付いたのは誰ですか。」

＜母親＞

「どのように対応をしましたか。」

＜乳幼児検診、2歳児・3歳児検診の時に医師に相談しました＞

「その後、どのように対応をしましたか。」

＜多くの母親は、何となく気に留めながら、子どもの様子を(観察)しました＞

＜半年くらいは、すぐに過ぎてしまい心配でした＞

＜次の検診の時には、私の方から先生(医師)に相談しました＞

＜相談センター、内科の先生にも相談をしました＞

【気付いていない親】

「子どもの発達の遅れや成長の変化について、どのように気付きましたか。」

①検診で＜医師＞から告げられました。

②何となく＜友達(母親)＞から言われました。

「どのように対応をしましたか。」

＜信じられませんでした。様子を見ながら過ごしました。また、何処に相談をすればいいのかわからないので、友達に相談した＞

＜検診の時に先生(医師)に相談しました＞

【就学前】

このような状況の中において、(家族支援の方策を具体的に示す)

①乳幼児、2歳児、3歳児、4歳児、5歳児検診、就学前検診の義務化。

②相談窓口(子育て相談)の提供。

③情報(気付き、見方、成長・発達の目安)の提供。

保護者支援が早期対応の手がかりとなる。また、子どもの気付きや変化についての相談は、大多数が「母親」である。そこで、母親が相談しやすい窓口を設定し提供する。(父親の存在は薄い)

④妊産婦相談の充実。

II 障害のある子どもの就学に関わる基本的な考え方についての意見

- 1, 市区町村では、教育相談センターの相談窓口を広く提供し、担当者には専門官を配置する。
- 2, 相談者(保護者)には成長・発達及び行動・生活の目安となる基準を指導するとともに、次に結び付くような(点から線)アドバイス(助言)が必要である。(基準とは、気付きの基準)
- 3, 基本的事項である「就学支援シート」については、教育委員会が保護者からの聞き取りや医師の診断を基に作成し、就学先に接続する。
就学先では、さらに成長・発段階に合わせたチェック項目を作成し、教員が共通の観点から子どもの行動観察、生活観察、能力観察を実施し、「個別的教育支援計画」作成の手立てとする。また、保護者からの聞き取りを十分に行い、子どもの支援の在り方を共通させる。
※チェック項目は教育委員会で作成し、共通シートが望ましい。
- 4, 適切な就学のためには、ある期間をもって体験入学(学習や生活)を実施し、集団の中における生活適応能力や会話能力を確認する。また、就学先の見学を十分に行う。(見学とは、取り巻く環境全般)
- 5, 就学指導委員会や就学相談会では、子どもの能力判定のみに傾重せず、広く資料を用意し、個人の良さを認知し就学先の判断をする。また、判定者、判断者は経験的な見方、判断が先行することのないよう、広く個のニーズを染め上げられるような見方を通して判断する基準を持つことが必要である。さらに、教育委員会は保護者との事前面接(ニーズ調査)を十分に行い保護者の意向が尊重されるように準備をする。
- 6, 子どもの就学状況を整えることは、市区町村教育委員会の義務事業であることを確認したい。(整えるとは、就学先の決定、支援並びに教育内容の決定)
- 7, ニーズとは、子どもに合う就学先を選定するものではなく、子どもに合わせる就学先を設定することである。さらに子どもに必要な付属品は、子どもの希望に添って付けていくものである。選ぶ、と言う考え方から、何が必要か、と考えることがニーズの考え方である。

III 居住地交流(支援学校と小中学校)についての意見

- 1, このことについては、希望するすべての児童生徒を対象に積極的に実施するべきである。その際、交流を希望する保護者との連絡を十分に行い、出来ることと出来ないことを理解することが必要である。しかし、教育活動の中において、出来ないと判断することは皆無である。(危険や無理が生じることはある)

多くのことを実現するためには、それに伴う補充や改善が必要である。

- 1, 教育委員会(学務課就学相談員、就学支援員)配置職員の専門性
- 2, 小中学校(義務教育)におけるコーディネーターの専門性、授業の軽減
- 3, 支援教員の配置
- 4, 施設設備、教材の充実、
- 5, その他

以上、早期支援と就学指導(小学校)を前提に意見書をまとめました。教員の専門性の向上に関わる対策や他の内容については次の機会といたします。